

# 授 業 概 要

(介護福祉学科)

科目名 ビジネスマナー		授業の種類 講義	授業担当者 山田 哲生
実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> あり なし 介護福祉施設での勤務の経験を通して、ビジネスマナーを教授する。			
授業回数 15回	時間数(単位数) 30時間(2単位)	配当学年・時期 1学年・前期	必修・選択 必須科目
<p>[授業の目的・ねらい] 社会人、組織人としての基礎的なマナーを習得する。</p> <p>[授業全体の内容の概要] 接遇・ビジネスマナーを通じて、組織体のあり方や対人関係のあり方を学ぶとともに、組織(会社)の中でより良い人間関係を構築するためのノウハウを学ぶ。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)] 社会人・組織人としてのマナーや態度を身につけ、介護福祉士としてチームケア及び利用者家族への配慮を習得する。</p>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 接遇・ビジネスマナーの意義とあり方</li> <li>2 身だしなみ・挨拶とお辞儀</li> <li>3 言葉遣いと対人関係のあり方①(敬語の種類と使い方)</li> <li>4 言葉遣いと対人関係のあり方②(間違いやすい敬語)</li> <li>5 言葉遣い(接遇表現)と組織の理解</li> <li>6 来客対応・接遇マナー</li> <li>7 電話対応(受け取り方・取り次ぎ方)</li> <li>8 指示の受け方、報告の仕方</li> <li>9 慶弔の心得とマナー</li> <li>10 会議の知識、文書作成(1)</li> <li>11 文書作成(2)</li> <li>12 文書の取り扱い、郵便の知識</li> <li>13 上司との関係と報告・連絡・相談の違い</li> <li>14 人柄と良識、クレーム対応</li> <li>15 社会人としての一般常識、総復習</li> </ol>			
[使用テキスト・参考文献] ・介護福祉スタッフのマナー基本テキスト (日本能率協会マネジメントセンター) ・介護のための接遇講座(中央法規)		[単位認定の方法及び基準] ・試験またはレポートによって、総合的に評価	

# 授 業 概 要

(介護福祉学科)

科目名 生活文化論	授業の種類 講義	授業担当者 笛木 泰子	
実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 介護福祉施設での勤務の経験を通して、生活文化論を教授する。			
授業回数 30回	時間数(単位数) 60時間(4単位)	配当学年・時期 1年生・前期	必修・選択 選択科目
<p>[授業の目的・ねらい] 介護福祉士としての生活文化理解と共感ができる。介護を必要とする人を理解する。</p> <p>[授業全体の内容の概要] グループワークや課題などを通して、身近な歴史について理解すると同時に、高齢者の方々が昔はどのような苦勞をされていたのか理解をする。</p> <p>[授業終了時の達成課題(到達目標)] 高齢者の方の苦勞を理解することにより、共感的態度を得る。また、時代的背景を理解することにより、介護福祉士としての知識を高める。</p>			
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <p>1            オリエンテーション</p> <p>2～4        新潟の歴史を学ぶ</p> <p>5、6        みなとびあ見学(高齢者の基本的理解)</p> <p>7            みなとびあ見学のまとめ</p> <p>8、9        高齢者への昔の生活インタビュー(尊厳を支える介護)</p> <p>10、11      高齢者インタビュー 発表</p> <p>12、13      戦時中の生活について(高齢者の基本的理解)</p> <p>14、15      郷土料理と戦争中の食事について(高齢者の基本的理解)</p> <p>16、17      郷土料理の試食</p> <p>18～22      回想法について</p> <p>23～27      日本の行事について</p> <p>28、29      昔の遊び(グループワーク)</p> <p>30           まとめ</p>			
[使用テキスト・参考文献] ・ 日本民族学     福田アジオ他 出版社名     吉川弘分館		[単位認定の方法及び基準] ・ 提出物、試験によって評価	